

# 届けられた手紙に お答えします

昨年度、市長に届けられた手紙は42通で、44件のまちづくりのアイデアや市役所の仕事に対する疑問などが寄せられました。このページではその中から3つの声とその回答内容を抜粋してお知らせします。

「市長への手紙」は、市民の皆さんと

市役所をつなぐ「パイプ」の一つです



## やませ土風館 便利で感謝

(60歳代・女性)

**声** やませ土風館は便利で気軽に入りやすいです。トイレやエレベーターなど、障がい者も利用しやすく感謝しています。

**答** 街なかの活性化に向けて整備したやませ土風館。おかげさまで多くの人に利用いただいています。今後も工夫を重ね、訪れる人により満足してもらえよう努力してまいります。街なかを活性化するには市の取り組みだけでなく、各商店や市民の皆さんの協力が不可欠です。今後もご協力をお願いいたします。◎中心市街地活性化推進室(☎52-2123)



## 施設の分煙化 進めてほしい

(20歳代・男性)

**声** 分煙化されていない施設が目立ちます。喫煙場所以外で喫煙する人も多いので完全分煙化を進めてほしいです。

**答** 市は喫煙による健康障害の知識の普及や施設の分煙化に取り組んでいます。市が管理する公共施設などはすでに分煙化し、分煙機の設置や喫煙場所を指定していますが、再度利用者呼び掛け分煙の徹底を図ってまいります。皆さんの健康に配慮し、快適に施設を利用いただけるように今後も取り組みを進めます。◎財政課(☎52-2113)



## ごみ分別の啓発 無線を使っては

(70歳代・男性)

**声** 防災無線を使ってごみ分別を呼び掛けてはどうでしょうか。また草木を可燃ごみと一緒に回収するのはなぜですか。

**答** ごみ減量やリサイクルについては広報などで啓発をしていますが、今後は防災無線の利用も含め、よりよい啓発方法の検討を進めたいと思います。また草木を焼却すると灰や煙が周り迷惑になるほか火災も心配されます。火災防止のためにも草木はできるだけ可燃ごみとしての処理をお願いいたします。◎生活環境課(☎54-8003)

## 一緒にまちをつくりましょう

行政の基礎は市民の声だと考えています。行政と皆さんとで情報を共有・交換することは大切なことです。まちづくりは行政だけでできるものではありません。みんなで協力してまちをつくり上げるために、お互い意見・提言を交わしながら課題に対する認識を同じくすることが大切です。このまちの将来を一緒に考え、一緒につくっていきましょう。



山内隆文市長

平成21年(2009)6月15日号

## 市長への手紙

氏名 \_\_\_\_\_ (男 女) 歳

電話番号 \_\_\_\_\_

のりしろ  
(たにおり)

のりしろ  
(たにおり)

のりしろ  
(たにおり)

きりとり

きりとり

折れ線

折れ線

### ※封筒の作り方

- 1 きりとり線で切り取ってください。
  - 2 この面が内側に来るように、折れ線表示に添って内側に折り込み、のりしろ部をのりやセロハンテープなどではってください。
- この封書は、切手をはらずにそのまま郵便ポストに投函できます。なお、市役所や各支所でも直接受け付けます。